

学校の教育目標

○健康で明るい子 ◎よく考えずすんで学習する子 ○心豊かに助け合う子

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
○学びの基礎・基本を身に付け、筋道を考え、表現できる力 ○既習事項や体験等を関連付けて考え、主体的に解決できる力 ○柔軟な思考力や判断力、豊かな想像力や表現力	・児童の学習状況を把握し、個に応じた丁寧な指導の継続 ・児童自らが課題を設定し解決する自主学習の充実 ・授業と家庭学習を連動させた ICT 機器の活用

一年	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する力	・登場人物の行動や会話にサイドラインを引かせ、何をしたのか、なぜそうしたのかなどを具体的に想像できるようにする。
算数	○問題の場면을想像し、それを根拠として適切に立式して、答えを求められる力	・問題の場면을想像させるために、ICT 機器などを活用し、言葉と場面と式を結びつけるような具体的な指導を行う。
生活	○身の回りの植物や動物、人々について関心を持ち、自分の生活について考え表現できる力	・子どもの好奇心や探求心などの心情に働きかける体験活動や、地域的人的・物的資源の活用を多く取り入れる。
音楽	○楽しく音楽に関わり、表現に対する思いをもち、協働して音楽活動をする力。	・常時活動の充実を図り、子ども同士が関わり合いながら楽しく基礎基本が身に付くようにする。
図画工作	○手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫する力	・様々な材料、用具に充分に触れながら、表現の楽しさを体得する。ペアトークを取り入れ、自分が表したいことを考えたり、伝えたりする力を高めていく。
体育	○色々な体の動かし方に慣れ、楽しみながら運動できる力	・よい動きや楽しい動きを共有する場を設定し、様々な動きを体験的に習得できるようにする。

二年	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○場面の様子や登場人物の行動を手掛かりに、内容の大体を捉えることができる力。	・場面の様子や「誰が何をした、どのようなことを言った」など、登場人物の行動や、会話を基に読み取るように指導する。
算数	○数の表し方や計算の仕方を理解し、正しく計算する力	・計算方法の仕方の指導においては、図や絵に表したり、具体物の操作をしたりすることを通して理解を深められるようにする。
生活	○身の回りの植物や動物・人々と関わる活動を通して、気付いたことや思ったことを自分の言葉で表現する力。	・個々の気付きを発言、文、絵などを用いて友達に伝え合う活動を多く取り入れることを通して表現力を高めていく。
音楽	○楽しく音楽に関わり、表現に対する思いをもち、協働して音楽活動をする力。	・常時活動の充実を図り、子ども同士が関わり合いながら楽しく基礎基本が身に付くようにする。
図画工作	○手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、工夫して、創造的につくったり表したりする力	・様々な材料や用具に十分に慣れ、それらの基本的な扱い方を習得し、創造的に表現する力を高める。ペアトークを取り入れ、自分が表したいことを考えたり、伝えたりする力を高めていく。
体育	○各種の運動遊びにすすんで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動遊びをする力。	・児童の課題に合わせた活動の場を工夫するなど、児童一人一人の課題解決の場を用意し、すすんで運動に取り組めるようにする。

三年	教科等で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○段落相互の関係や登場人物の行動や気持ちを叙述をもとに捉え、感想や考えをもつ力	・視覚的に分かる掲示物を活用したり、ICT を用いて、意見交流の機会を増やしたりして意欲を高める。
社会	○生活体験や調査活動から様々な見方や考え方をもちながら、追求しようとする力	・生活体験や調査活動を学習に結び付けやすくできるよう、学習時に視点やキーワードなどを提示する。
算数	○数の表し方や計算の仕方を理解し、正しく計算する力	・図や表、グラフに表したり、具体物や ICT 機器を使ったりして考えていく活動の充実を図る。少人数体制で個に応じた支援を行う。
理科	○自然に親しみ、見通しをもって観察や実験に取り組み、理科への関心を高めようとする力	・自然により多く触れたり、実験の記録などを視覚化したりし、自然の事象、現象についての理解を図る。場の設定や実験方法の工夫を行う。
音楽	○すすんで音楽に関わり、表現に対する思いや意図をもち、協働して音楽活動をする力。	・共通事項を使って、音楽を聴いて感じたことを表現するなど言語活動の充実を図る。
図画工作	○手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫する力	・ペア、グループトーク等の活動を取り入れ、友達の思いや意図を聞き合ったり、自己の考えや思いを伝えたりする活動を取り入れる。
体育	○体の動かし方において自己の課題を見付ける力	・ICT 機器を活用することで、自分の動きを確認するなどして学習の振り返りを行い、自己の課題を見付ける力を養う。
外国語活動	○外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うようにする力	・ALT やデジタル教材の音声聞かせ、基本的な表現に慣れ親しめるようにする。他授業や休み時間を活用し、外国語でやり取りする時間を設け、素地を養う。

四年	教科等で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○初め、中、終わりの組み立てを意識してまとめられる力	・自分の考えとそれを支える根拠を明確にして、伝えられるようにする。
社会	○自分自身も地域社会の一員としてすすんで取り組もうとする力	・課題意識をもたせ、資料から読み取ったことをもとに課題を解決し、それらを実生活で活かせるようにする。
算数	○数量関係に着目し、関係図や数直線図を用いて考える力	・ICT 機器を活用しながら、図で考える場面の充実を図る。事象を多面的に考え、より適切な考えを求めて粘り強く考えられるようにする。
理科	○事象に対して仮説を立て、調べる方法を考え、結果から考察する力	・問題・予想・実験計画・結果・まとめをどの実験でも同じように展開し、自分の考えをもち表現できるようにする。
音楽	○すすんで音楽に関わり、表現に対する思いや意図をもち、協働して音楽活動をする力。	・共通事項を使って、音楽を聴いて感じたことを表現するなど言語活動の充実を図る。
図画工作	○手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫する力	・ヘア、グルーブトーク等の活動を取り入れ、友達の思いや意図を聞き合ったり、自己の考えや思いを伝えたりする活動を取り入れる。
体育	○チームで話し合い、作戦を立てて練習を工夫する力	・チームで話し合う時間では、よいところや課題を話し合えるよう見るポイントを示す。
外国語活動	○英語での色々な表現を知り、状況に合わせて知っている言葉を使って表現する力	・音楽やリズム、身体表現を伴う活動を取り入れ、すすんで学習に取り組めるようにする。

五年	教科等で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○文章全体の構成や描写を基に内容を把握し、自分の考えをまとめる力	・段落や場面など、まとまりで文章を捉えるよさや効果を指導し、内容の大体を捉える練習を繰り返す。考えをまとめる場面では、話型を提示し、考えを表現する方法を指導し、交流を繰り返すことで、自らの考えを広げるようにする。
社会	○必要な資料を正確に読み取る力・考える力・まとめる力	・読み取り方を確認しながら、表やグラフなどの資料を丁寧に見られるようにする。また、ICT 機器を活用してまとめる時間を意図的に設定する。
算数	○問題を正しく読み取り、協働的に解決する力	・ICT 機器や具体物を利用して問題場面の理解を支援した上で、根拠をもって説明したり相談したりして解決する場面の充実を図る。
理科	○根拠をもって問題を考え、解決する力	・予想や考察をする際には、自分の考えや理由をもてるように授業を工夫する。
音楽	○主体的に音楽に関わり、表現に対する思いや意図をもち、協働して音楽活動をする力。	・「考える・表現する・学び合う・振り返る」4 場面を授業の中に取り入れ、児童が主体的に学習できるようにする。
図画工作	○材料や用具を活用し、表し方などを工夫する力	・教科書のQRコードの動画活用を通して、発想をひろげたり、技能面の知識を高めたりする。
家庭	○学習したことを生活に活かす力	・学習内容が、生活のどのような場面で活かせるかを適宜提示し、自分の生活の具体的な場面を振り返りながら考える。
体育	○チームで話し合い、作戦を立てて練習を工夫する ○助言をし合い、一人一人の技能を高め合う力	・よいところや課題を話し合えるように、ポイントを示しながら話し合う時間を確保する。
外国語	○自分の考えや気持ちを聞き手に分かりやすく伝え合う力	・ALT や友達と交流する時間を多く設定し、自分の考えや気持ちを話したり、尋ね合ったりする場をつくる。

六年	教科等で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組
国語	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	・「内容と構造の把握」だけに終始するのではなく、文章から読み取ったことや、6年生までに学習した読み技法を活用し、自分の考えを形成する学習を繰り返し指導する。
社会	○資料から読み取ったことを比較・関連付けてまとめる力	・複数の資料を比較・関連付けて読み取り、ICT 機器を活用してまとめる時間を意図的に設定する。
算数	○データを言葉と数を用いて表現する力	・基礎的な知識、技能を活用する日常的な場面を設定して友達に説明させたり、個に応じた問題に取り組ませたりする。
理科	○論理的、科学的に思考したことをまとめる力	・実験結果をもとに自分の考えたことを、まとめたり友達と共有したりする時間を設定する。
音楽	○主体的に音楽に関わり、表現に対する思いや意図をもち、協働して音楽活動をする力。	・「考える・表現する・学び合う・振り返る」4 場面を授業の中に取り入れ、児童が主体的に学習できるようにする。
図画工作	○材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりする力	・教科書のQRコードの動画活用や作品ギャラリーの閲覧等を通して、発想をひろげたり、技能面の知識を高めたりする。
家庭	○身に付けた技能を家庭で活用する力	・単元ごとに身に付けた技能を私生活で活用するための計画を立てられるようにする。
体育	○目的にあった体の動かし方を考え、実践する力	・自分の体の動かし方を客観的に見るために ICT 機器を活用する。
外国語	○実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付け、自分の考えや気持ちを伝え合う力	・ALT や友達と声に出して尋ね合ったり答えたりするコミュニケーションの場を毎時間設定する。

